

平成18年度第5回大磯町教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成18年8月23日(水)
開会時間 午前 9時30分
閉会時間 午前10時12分
2. 場 所 大磯町役場4階第1会議室
3. 出席者 澤 愛 子 委員長
原 田 義 彦 委員長職務代理者
石 塚 洋 委員
清 田 義 弘 委員
渡 邊 修 司 教育長
鈴 木 一 男 教育次長
熊 澤 久 学校教育課長
福 島 伸 芳 生涯学習課長兼郷土資料館長
戸 村 豊 茂 図書館長
長 岡 克 昌 学校教育課副主幹
4. 傍聴者 3名

(開 会)

出席委員が5名で定足数に達しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により定例会は成立し、大磯町教育委員会会議規則第14条及び第19条の規定により傍聴を許可。暫時休憩ののち傍聴者が入室し、再開した。

(前回会議録等の承認)

委員長より前回会議録の項目を読み上げ、出席委員全員の承認を得る。

議案第12号 平成18年度9月補正予算における教育委員会予算要求について

書記が議案を朗読し、教育長から提案理由の説明を行った。

学校教育課長) 平成18年度9月補正予算における教育委員会予算要求について、補足説明をさせていただきます。別紙をご覧ください。歳出でございます。

中学校の部活動で関東大会、全国大会に出場した部活動の補助金でございます。

予算科目、中学校費、教育振興費・教育振興推進事業の負担金補助及び交付金、部活動補助金でございます。この事業につきましては、主に、部活動の各種大会にかかる旅費等の補助を行うものでございます。

ただし、中学校体育連盟主催の関東・全国大会につきましては、例年、勝

ち進んだ場合にのみ、補正対応させて頂いているものでございます。今回の関東・全国大会出場に係る旅費等の分を新たに要求するものでございます。

なお、関東・全国大会に出場した部活動の活躍につきましては、後程、報告事項のところで報告させていただきます。以上でございます。

(質疑応答)

原田委員) この趣旨については、毎年のごとでございますから、私も賛同しておりますし、これでよろしいと思います。

関東大会とか、全国大会についての主催者というのは、中体連ということになりますが、特に先般高校野球の甲子園大会が終わって、早稲田実業が優勝したわけですが、高野連では全国大会の場合、高野連そのものが補助というか、旅費等を支援しているように聞きますが、中学校体育連盟の場合は、中体連から学校への補助はないのですか。

教育長) 高校の関係なので、私の方から説明させていただきます。高体連と高野連については、本来ならば高等学校体育連盟ですので、野球も高体連の中の1部門の組織でございますが、高体連の中に高野連は入っていない状態です。高野連にはスポンサーが付きますので、財政的に極めて豊かなものでございます。高体連側の方は色々な援助をもらってやっている訳ですので、高校野球とは全く別ものの組織という風に考えた方がいいと思います。

ですから中体連の組織はありますが、中体連の財政的な基盤は色々な援助という形で動いています。高体連も同様ですので、高野連だけが全く別格の組織でございます。

石塚委員) 学校教育の中ではスポーツの占める位置付けは高いと思いますが、大磯町の中学校の子どもたちが関東大会、全国大会に出場できるということは、そのレベルがかなり高いという証拠でして、コーチ陣の先生方、関係の皆様は大変苦勞されているのだと思います。子どもたちの能力を伸ばすために、子どもたちに心の負担が掛からないようにしなければいけないと思うのです。その一番負担に感じるのは、自分の能力をどうやって発揮するかという点もありますけれど、他所での試合になりますと、旅費等が掛かるものです。今回は全国大会で四国の方へ行ったようですが、千葉県の方でもかなり試合がありました。子どもたちに対する旅費の補填と言っていました。旅費規程がきちんとあるのか、というのが1つと、それからギリギリお金がない中でやっているの、子どもたちが精神的にも勝ってしまったらまたお金が掛かるかなという、気持ちが少なからずあるのではないかという気がします。スポーツ振興に関するお金というのは、どの位の規模か分かりませんが、十分用意してあげたらいいのではと個人的には思います。例えば応援団のお金は含まれていないのですよね。100m徒競争となると選手が1人ですよね。1人分の旅費だけの補助ということで、保護者の方の旅費とか、応援をする数人の旅費の補填もするということではないのですよね。

清田委員) 関連で、私も陸上をやっていたので、大会に参加することについては大事

にしてもらいたいと思います。選手本人プラスコーチ、先生方を含めて補填はやって頂いていると思うのですが、もしそうでなければ是非お願いしたいと思います。競技は勝ち進んでいくことがある訳ですが、駅伝などでは、もし勝ってしまったら学校はどうにもなりませんから、寄付をお願いすることになるようです。いずれにしても勝ち進んでほしいという気持ちはあるのですが、大変なこともあります。

学校教育課長) 先般、高校野球が皆さんに大変感動を与えたということで、先程教育長の説明で高野連の話が出ましたが、子どもたちが高校野球で甲子園へ行くのが決まると、周辺の商店街等で寄付を募ったりとよくあるパターンですが、この間埼玉の高校へ寄らせて頂いた時に甲子園へ行く準備をしまして、1億5千万円の寄付が集まったということで話しておりました。先程からご心配頂いております中体連の関係は、スポンサーもおりませんので、それぞれの行政からのお金でということになります。教員につきましては、県費職員ですので、県のお金で出張旅費という形で出しております。子どもたちについては、今回お願いしております部活動補助という形です。県大会までの範囲は、年度当初にお願いしておりますところですが、全額はとても出ていない訳で、実際にはひどい所は3割、よくても4割、30%から40%位の補助をしているのが、町の財政の状況なのです。

議会の方では最初から全部見込んで準備しないといけない、補正を組んでいる場合ではないというご指摘も受けますが、もしもそれをやっていくと、全国等に行くのも、3割4割ということもなってしまうので、全国へ行くには金額が掛かりますので、県内でしたら旅費は千円の中で行けますが、全国ですと何万と掛かりますので、3割4割の補助では大変ですので、逆に全国・関東においては、申し訳ないですけれど全額補助の形を採らせて頂きたいということで、今補正をお願いしているところです。出る選手のための旅費・宿泊だけを出して頂いているので、種目によっては、応援が必要で、例えば今回剣道に行く時に、練習する相手を連れて行かないとダメだという話があるわけですが、連れて行った場合には、自分たちの中で折半にして応援に来てくれた人の分もその中で割って、半額にしたり、そういう工夫を様々して頂いております。行政的には、当該選手のみ、勿論保護者等のお金も見込めませんので、選手のみの実費ということで出して頂く、それが今回の補正でございます。よろしく願いいたします。

委員長) 確認させて頂きますと、県内は6・7割が自己負担で、関東・全国に関しては、本人分の宿泊・交通費を含めて補正予算でやるので、後払いということになるわけですね。

学校教育課長) 基本的には、後払いが多いわけですが、ただ3月の場合は、2月の議会の中で補正が先に通って、春休みに行く場合は、先に持たせてあげることが出来るわけですが、夏の場合は間に合いませんので、9月の議会になりますので、8月の大会は自分で出して頂いて後から補填するというところで、それに対して昨年も議会の方で、それは酷いじゃないかというご意見も頂きましたが、満額出すためにはこういう方法の方がかえって実際に保護者にいきますので、当方としてはこの方法でお願いしたいと思います。

委員長) 公立学校ですと、大体このようなシステムということですか。

学校教育課長) ほぼ同じですが、ただ行政が変わりますとやり方は様々ありまして、平塚と伊勢原はまた違いまして、伊勢原は100万円というのを関東・全国のために、年度当初から予算を組んでいます。伊勢原は非常にスポーツが活発なので、100万円でも足りない年が結構出てきます。それは今まで全てよそから流用で、100%出していました。今年はずいぶん、満額支給できないかもしれない。100万円以上は出せないと市の方の財政の判断がされたようです。

平塚市の場合は中体連の事務局が学校の当番でやっていて全額を全部渡します。色々含めて関東・全国だけでなく、全てについてその中から実際に関東・全国が全額出ていて、尚かつ全国へ行ったら1万円、関東へ行ったら5千円のお祝い金を出しているという例がありますが、大磯町はそういう状況ではありませんので、出来る限りの中で実費を出させて頂くのが、精一杯ですので、お願いいたします。

子どもたちは、お金が掛かるから勝っては困るなどと考えるはないと思いますので、本当に一生懸命やった成果だと思えますので、励まして、そして最終的には、今回全国へ行っただけを更に横断幕を出させて頂きましたが、そのような励ましを今後も続けていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員長) 基本的に保護者の方の支持があって成り立っていることと云うことですね。

原田委員) もう1件質問させていただきます。次のページに関東大会3回戦敗退とか、関東大会1回戦敗退とか、記載がありますが、こういう結果をもって議会で否決されるようなことはありませんね。

教育長) やはりどうしても、既に実施したことを事後報告的に補正予算計上ということになりますから、常にそういう心配というのは付き物になりますので、結果をもって議会在議決したということになると、やはり迷惑は子どもたちにかかりますから、そういうことの無いようお願いしたいと思います。過去において否決されたことは無いと思えますので、議員の皆様のご良識の範囲内で判断して頂いていると思えます。今のところこの方向でやっていきたいと思えます。

石塚委員) 再確認ですが、今回の補正予算額で出席した選手の旅費やホテル代、すべて県外の場合は補填されると思ってよろしいですか。

学校教育課長) そのように考えております。

委員長) 議案第12号について、ご異議ありませんでしょうか。

委員全員承認する。

委員長) 議案第12号については、原案どおり承認いたします。

報告事項第1号 平成18年度中学校体育大会関東・全国大会出場について

学校教育課長) 報告事項第1号、平成18年度中学校体育大会、関東・全国大会出場につきまして、資料に基づき説明させていただきます。

中学校、運動部活動、夏の大会の結果につきましては、例年、9月の定例会で報告させて頂いておりますが、その中で特に顕著な成績を収めたものについては、先にこの8月の定例会で報告させて頂くものでございます。

資料をご覧ください。下の方から説明いたします。

まず、陸上競技ですが、第19回県選抜陸上競技大会で、2年女子100mに出場した国府中学校の松井友美さんは、12秒61の大会記録で優勝し、香川県の丸亀市で行われた第33回全日本中学校陸上競技大会に出場いたしました。

全国大会では、記録12秒64予選6位で敗退いたしました。

また、通信陸上県大会では、12秒79で3位となり、川崎市等々力で行われた第34回関東陸上競技大会にも出場しました。この関東大会では、12秒49で見事に優勝しております。

なお、通信陸上県大会では、男子走り幅跳びに出場いたしました国府中学校3年高橋啓太さんが6m34を跳んで3位に入賞し、同じく関東中学校陸上競技大会に出場いたしましたが、悪天候の中5m59で24人中19位でございました。

次に、昨年も活躍いたしました国府中学校のソフトテニス部でございます。今年は、女子団体で県大会準優勝し、関東大会に駒を進めました。また、女子個人では、吉田・岩崎組が県大会優勝、小早川・岩下組がベスト8で関東大会に出場いたしました。

関東大会は東京の有明で行われました。女子個人の吉田・岩崎組が9位で全国大会に出場いたしました。もう1つのペアは初回戦で敗退いたしました。団体戦も群馬県代表に初回戦2-1で敗退いたしました。

愛媛県の松山市で行われた全国大会では、初回戦で広島・鈴峰女子のペアに4-2で敗れております。

なお、国府中学校のテニス部は8月19日に千葉県白子町で行われた全日本ジュニア大会団体戦では、女子1年の部 優勝、2年の部 3位、3年の部 準優勝、男子2年の部 準優勝の好成績でございました。

大磯中学校は剣道部の大塚さんが女子個人で県大会第3位、卓球部は男子個人で綾部さんが県大会第9位でした。いずれも関東大会に出場いたしました。

剣道の大塚さんは関東大会初戦で敗退しております。卓球の綾部さんは3回戦で敗退しております。以上でございます。

(質疑応答)

原田委員) 8月20日に全国大会が丸亀市でありましたが、結果はいかがでしたか。

学校教育課長) 全国では、12秒64という記録で、予選2組に出場して、残念ながら6位という結果でございました。タイム的には悪くないのですが、コンマ1秒の差で沢山おります。全国のレベルは非常に高いということです。まだ2年生ですので、来年も期待したいと思います。

教育長) 松井さんは、12秒61というのも凄いのですが、関東大会では12秒

49を出していますし、昇り調子というか、どんどん速くなっていますし、100mで0.1秒、0.2秒を縮めるのは大変なことで凄いと思います。

清田委員) 中学生というのはその時のコンディションといいますか、体調を整えるのが難しいです。私も中学生ではありませんでしたが、その時に合わせて体調を整えるのが非常に大変でした。調子がいいと思って行くと、かえって良くなかったり、駄目かなと思っていくと、逆に良い記録が出たり、非常にデリケートなものがありました。特に100mの場合にはわずかなことで0.1秒の差が出るというように、変わってしまいますので、それなりに大変だなと思います。

何しろみんな本当に、陸上もそうですが、他の競技も大変頑張っていて素晴らしいなと思います。何らかの形で是非、励まして頂きたいと思います。他の子どももそれに向かって頑張ろうという気持ちになれば素晴らしいと思います。

委員長) 町の広報等には掲載されるのですか。

学校教育課長) 町の広報にも関東大会の記事を写真入りで載せさせて頂きました。この間、教育長と町長にも会って頂きました。本当に可愛い、小柄なお子さんです。先程委員がおっしゃったように、女子は特にコンディション作りに気を遣います。松井さんは東海大の先生がコーチングに加わっているようで、大変、将来有望ではないかと期待しております。是非応援して頂きたいと思います。

原田委員) 毎年、2月ないし3月上旬にかけて、そのスポーツ・文化をもって表彰することをやっていますが、その表彰の中にこうやって活躍して頂いた方は入っているのでしょうか。

学校教育課長) 第1候補として考えております。皆様のご承認が頂ければありがたいと思っております。

石塚委員) 参考に、今、大磯中学校・国府中学校のスポーツのクラブ活動に入っている加入率というのは、全校生徒の何割位加入しているのですか。

学校教育課長) 中学校の方は、部活動検討委員会等でも、部活動のあり方について、非常に課題が多いので、常に検討している所なのですが、子どもたちは、1年生の当初は大体9割位が、文化部も含めて部活動に加入してきます。途中で脱落してしまう子どももいますが、最終的に7割前後の子が、3年生まで何らかの部活動を続けていて、ほとんどの子が、3年間同じ部に所属する。文化部が大体2割から3割程度おりますので、運動の部活動としては、6割前後の子どもが運動部で活動する。9月に夏の結果一覧を出しますが、各種目素晴らしい努力をして、関東・全国へ行った子どもたちは素晴らしいのですが、他の子どもたちも非常に良く努力して、先生方も指導に関わって頂いております。両校は非常に落ち着いて勉学に励んでいるというか、文武両道というか、スポーツも非常に盛んであると、よそからもそう見られておりますので、そういう点では、子どもたちも非常に活動しやすい状況にあると思います。

石塚委員) 今、受験優先というか、塾通いの子どもも多いと聞いていたのですが、60%の子どもがスポーツ部に入っているのは、他の地域に比べて高いのではな

いですか。それはいいですね。

委員長) 運動部への参加率が高いということと、所謂、子どもたちが落ち着いているという、全体的にそういうところにも反映されていることは非常にありがたいといえますか、本人たちの日頃の心がけでそうなっているというのは、凄く良いことだと強く思いますので、僅かな補助金は欠かさないように、今後も続けて頂きたいと思います。

もう1点、今年特に気がつきました点は、今まで上位の成績を出したのは、団体戦が多かったのが、今年は個人戦が、この陸上の女子は飛び抜けているのでしょうが、それ以外にも個人戦というのが目に付いてきたかなと思います。これには私は個人的に非常に好感を持ちます。団体だったら何とかなるのだけれど、個人ではどうもというのでは、長期的に見てちょっと弱いかなど。ですから、団体で力を付けてきた何年かの蓄積が、個人の力の発揮への反映にもなってきたのだと思います。大磯町にとっても住民の若い力、全体的な力へと繋がると思います。学校も落ち着いているということと、個人の能力が一段と伸ばされ、秀でてくる。スポーツだけでなく、他のことにも、皆生きてくると思いますので、個人の能力を伸ばすということにも力を注いで頂きたいと思います。

報告事項第2号 大磯町小学校訪問について

学校教育課長) 報告事項第2号につきまして、資料に基づき、説明させていただきます。

今年度、第2回目の教育委員会の学校訪問となります大磯小学校訪問でございますが、実施要領にございますとおり、趣旨といたしましては、「教育委員会が大磯小学校を訪問することにより、授業、施設、設備等を参観し、さらに職員との懇談を通して、大磯小学校が直面している課題を把握し、教育行政にそれを反映させ、大磯町の教育を充実させることに役立てる」ということでございます。

日時でございますが、9月20日水曜日の定例会後の13時20分からを予定しております。

日程でございますが、初めに、教育活動の概要について30分程度ですが、教務主任と研究主任から説明をして頂きます。質問等があれば時間内でお願ひしたいと思います。次に5校時目は1年、2年、3年、6時時間目は4年、5年、6年の授業参観をして頂きます。その後、職員との懇談を、約1時間程度予定しております。

職員との懇談でございますが、内容といたしましては、大磯小学校の教育活動についてということで、学校側より、児童の様子、並びに、現在大磯小学校が直面している問題等について説明をして頂きます。その後、懇談会という流れでございます。大磯小学校では、児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の推進を図る校内教育支援体制づくりに取り組んでまいります。特に配慮を要する児童や学級に対する日常的な支援を目指しています。このようなことに委員の皆様のご意見を頂けたらと考えております。終了時刻は17時を予定しております。澤委員長には初めの挨拶を、原田

委員さんには最後の挨拶をお願いいたします。以上、よろしくをお願いいたします。

(質疑応答)

委員長) 大磯小学校の体育祭は、9月20日では終わっていませんか。

学校教育課長) 大磯小学校の運動会は、10月7日になります。

その他

生涯学習課長) その他事項として、生涯学習課よりご報告いたします。

去る7月31日に発生しました埼玉県ふじみ野市市営プールにおいて、吸水口に子どもが吸い込まれ死亡した事故に伴い、教育委員会の所管である生沢プール排水口蓋の設置対応について、ご報告いたします。

生沢プールの排水口につきましては、25メートルプール(大プール)及び子ども用プール(小プール)にそれぞれ1個ずつ設置されております。

その構造については、まず、プールの水底に実際の排水口の前に鉄製の90×60センチ四方の格子がたの「さく」、「蓋」が設置されております。

さらにその下に25メートルプールに直径で「15センチ」、子どもプールに「10センチ」の排水口がありますが、そこには、事故以前から、吸い込み防止等の「蓋」が設置されておりました。

プールを利用される方の安全対策は、日頃から行っているところですが、今回の事故に伴い、8月7日付の県通知で国は二重での防止対策をするまで開設は中止するよう要請があり、これを受け、8月8日及び8月9日の両日に、それぞれの排水口に「吸い込み防止金具」を設置し、その対応をしたところでございます。

なお、プール水底にある排水用のさく、「蓋」のねじ止め等につきましては、プール開園から毎朝、監視員による点検を行っております。

また、8月15日付けで、今回の対応、監視員の体制等をプールの掲示板に掲示してございます。

プールの開園は、残り1週間ですが、利用者の安全対策には、引き続き、万全を期していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

教育次長) 次回の定例会の開催でございますが、平成18年度第6回については、9月20日水曜日、時間は9時30分、場所は本庁舎4階第1会議室で行います。平成18年度の第7回につきましては、10月25日水曜日、時間は9時30分、場所は庁舎4階第1会議室で開催する予定でございます。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成18年9月20日

委員長 _____

委員長職務代理者 _____

委員 _____

委員 _____